

議 平生町 議会だより

6月議会報告

6月定例会 6/17～25(9日間)

第 1 7 3 号

2024 年 8 月 2 日

発行 平生町議会 発行責任者 中村 武央
〒742-1195 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
E-mail gikail@town.hirao.lg.jp
編集 議会広報広聴調査特別委員会
印刷 中村印刷株式会社



「ボールプールたのしいな」

平生中央児童館

主
な
内
容

- 定例会・常任委員会審査報告・継続調査案件の調査など P. 2～3
いっぱん質問 7人 P. 4～9
研修報告・議会の動き・9月定例会会期予定など P.10

6月 定例会 6月17日~23日

令和6年6月定例会には、専決処分の承認2件、補正予算2件、条例2件、事件1件の7議案が上程され、審議の結果すべての議案は全会一致または賛成多数で可決されました。また、一般会計の繰越明許費繰越額、下水道事業会計予算繰越額の報告もされました。

さらに、最終日の25日には、議案第34号「工事請負契約の締結について」が追加議案として提出され、賛成多数で可決されました。

専決処分の承認

○承認第1号

平生町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

地方税法の改正により個人住民税の所得割額から納税者及び配偶者を含む扶養家族一人につき一万円の定額減税を実施するもの

また、固定資産税について現行の負担調整措置を3年間延長するもの

○承認第2号

平生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

課税限度額と低所得者の減額対象となる所得基準を引き上げるもの

※いずれも全会一致で承認されました。

歳入の主なものは、定額減税分の地方特例交付金4,300万円と物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金1億2,708万3千円です。

主な内容は、新たな住民税非課税世帯及び均等割のみの世帯に対し、一世帯当たり10万円と児童一人当たり5万円を給付する「物価高騰対応重点支援給付金給付事業」のほか、「定額減税調整給付金給付事業」の経費が計上されています。

議案第30号

令和6年度平生町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

補正額474万5千円で、財源は国庫支出金です。

主な内容は、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたシステム改修の経費と周知に要する経費です。

議案第29号 令和6年度平生町一般会計補正予算
1億2,708万3千円を追加補正し
予算総額は61億6,308万3千円に

議案第31号 地域再生法に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例

山口県から認定を受けた事業者が、首都圏から移転または本社機能を平生町で拡充する場合、固定資産税の不均一課税の適用期限を2年延長するもの。

議案第32号

平生町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令に伴い、保育士・保育従事者の配置基準を見直すもの。

議案第33号

山口県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

後期高齢者医療被保険者証の利用を停止し、マイナンバーカードに一体化する取扱いになることに伴うもの。

常任委員会審査報告

総務厚生常任委員会

本会議から付託を受けた案件を6月20日に審査した結果、すべて全会一致または賛成多数で「可決すべき」となりました。

主な審査経過は次の通りです。

【質】 定額減税は複雑であり、負担になっていないか。

【答】 税務課、総務課の給与担当者の負担もあるが、給付金事務は複雑な制度で、一番負担になるのは町民福祉課である。

【質】 国保加入者でマイナンバーカードに保険証を紐づけている人の割合は。

【答】 国保加入者約2,200人にに対し約1,600人。

【質】 後期高齢者医療広域連合の規約の変更は、国保と同様にマ

【答】 イナンバーカードを保有していない人には、資格確認書を発行することで間違いないか。

【答】 国保と同様である。



産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた案件を6月19日に審査した結果、条例1件について全会一致で「可決すべき」となりました。

反対討論

赤松義生議員

議案第30号 令和6

年度平生町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について、委託料として国保制度改正対応システム改修として469万7千円が予算化されています。

昨年12月の閣議で健康保険証の新規発行を今年12月で停止し、廃止する政令を決定しま

した。

保険証が無くなるらしいとの不安からマイナンバーカードを不本意ながら取得した方もおられました。

任意のはずのカードの取得を強制するかのような手法で普及させようとする予算であり、賛成できません。

議案第33号 山口県後期高齢者医療広域連合規約の変更についても同様の理由で反対します。

議案第34号

「工事請負契約の締結について」

議案第34号は議会最終日に追加の議案として提案されました。

新庁舎整備に伴う屋外整備工事は昨年12月に㈱米谷技建と契約し工事を行っていましたが、道路を拡幅中に土中から古い構造物が見つかったこと、官民境界に側溝の整備を行うなど追加契約が必要な状況になっていました。

変更後の契約金額は6,396万5千円。



議案番号	議 案 名	審議結果
議案第29号	令和6年度平生町一般会計補正予算	全会一致
議案第30号	令和6年度平生町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	賛成多数
議案第31号	地域再生法に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第32号	平生町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第33号	山口県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	賛成多数
議案第34号	工事請負契約の締結について 令和5年度 平生町役場新庁舎整備事業に伴う屋外整備工事	賛成多数

継続調査案件の調査(閉会中の委員会活動)

◎総務厚生常任委員会

〔5月20日〕

今年度予算で予算化されている防災公園基本設計業務について、また、公園に設置が予想される施設・設備について説明を受けました。

議員からは、どのような公園を想定しているか、また、どのような災害を想定してのものか、場所の選定や財源などについて質疑や意見を交わしました。



防府市のメバル公園(新築地町防災広場)

◎産業文教常任委員会

〔5月23日〕



平生小学校

第一回平生町立学校の将来の在り方検討委員会の諮問事項①適正規模・適正配置②連携・協働を基盤とした学校づくり③学びの連続性、小中連携教育・一貫教育④学校施設の更新時期⑤学校施設の更新にあたって整備の視点など検討委員会での意見について報告を受け、質疑や意見を交わしました。



中本 敦子 議員
なかもと あつこ

いっぱん質問



が聞きたい

質問 国・県・農業道路と橋の整備の状況は

答弁 県・田布施町と協議を行い、撤去を進める

質問

住みよい街づくりには生活の不便さを取除き環境の良い道路整備が重要な課題である。次の4点を問う。

①旧八海橋の管理責任者は誰か。現在の八海橋は昭和47年完成、田布施側の護岸も完成平生町側の護岸は未完成で放置され、老朽化し鉄骨がむき出て半世紀過ぎている。経緯を調べ、対応が必要なのではないか。

②巡回車の目的と情報処理の共有はどのようなにしているか。

③道路幅の確保について、道路の両サイドや割れ目から生えている草の影響で対向車の離合が難しい。

④アスファルトの補修について、いたるところで年数の経った舗装の傷みが激しい。補修の予算は計画しているが別に予算を組むことはできないか。

答弁

町長

①旧八海橋は、田布施町平生町の管理物と承知している。撤去については田布施町と合同で実施する協議を行っている。県と両町で協議し撤去について検討する。

②巡回車について、県においては県職員や外部委託などにより道路パトロールを実施し、点検や支障となる草木を除去している。

③町では作業員の日々の草刈りなどに併せて道路情報を確認するほか、豪雨時などには町職員も含め主要道路を中心に状況確認している。

④アスファルト舗装は、劣化した状態や地域住民からの要望などにより補修工事を行っている。全ての道路に対応することは困難、継続的に予算を確保し計画的に活用し対応していく。

質問 イベントや行事から学ばされたことについて

答弁 連携協働を強化した地域とともにある学校づくり

質問

①サイクルフェスタ、ウォーキング大会、コミュニティセンター祭り、ほたる祭りなど、コロナ禍で中止されていた各行事が開催された。

地域の交流が再開され活発化したことを実感する。その中で元気・笑顔な挨拶、ありがとうの感謝の言葉、ごみの分別等の整理整頓、社会性が育まれている姿に感動した。学校・家庭・地域による連帯感の成果を感じた。今後とも地域で子どもを育む方針を聞く。

②人口戦略会議が発表した消滅の可能性のある自治体に平生町も入っている。今年10人の新人職員が入った。若い人たちの前向きな改革案を多く取り入れ盛り上げることはできないか。

答弁

教育長

町教委では学校・家庭・地域、三者の連携・協働を進めている。子どもたちの健やかな成長の視点だけでなく、人と人の絆づくりから地域の活性化につながるかと考えている。

中学校では積極的に地域行事やボランティアに参加して、日常的に地域の方々と触れ合う機会を工夫している。

佐賀・平生小学校においても同様で郷土愛を育みふるさとから愛される地域とともにある学校づくりを町内全体で進めている。

活性化を図るためには若い人たちの発想を取り入れることが重要である。若者の意見を取り入れ、まちづくりを進める。若者の発想を大切にすることで平生町の魅力を高め、その魅力を発信する。



原 真紀 議員
はら まき

質問 上関町における中間貯蔵施設計画について

答弁 1市3町で議論を深め確認したい

質問

① 5月8日の1市3町の首長会議での内容はどうか。

② 上関町長島の立地可能調査が終わり適地か否かの判断を待たなくとも、国や事業者は「中間貯蔵施設が何なのか」「地域振興策というメリットは何か」など説明会を開くことができるかと考えるがどうか。

③ 「上関の中間貯蔵施設を考える周防住民の会」が3月に田布施町地域交流館近くと周防大島町役場周辺で行ったシール投票結果をどう見ているか。

④ 適地か否かの判断の段階から第三者が介入すべきと思うがどうか。

⑤ 周辺自治体も建設の是非を問う段階から、是非を言う権利はあるはずだが、首長会議で議論できるか。

答弁 町長

① 1市3町の議会に対し、中国電力から説明があったこと、周防大島町議会で中間貯蔵施設の視察を行ったことなど、それぞれの状況について、情報共有意見交換を行った。

② 上関町民を対象とした国などによる説明後に、1市3町の住民が説明を受ける機会が確保されるべきである。

③ 住民の意思の表明であり、自由意思に基づいてのことであると認識している。

④ ボーリング調査の結果、自社で判断するということなので、どういう体制になっているか調べる。調査の透明性については、1市3町で情報提供を求めている。

⑤ 周囲の市町の同意は必要ないと聞いているが、本当にそうなのか1市3町で議論を深め確認したい。

質問 安心して暮らせる町となるために

答弁 アスベストについて注意喚起を行う

質問

移住を考える時に新しく家を建てたり、中古住宅を選ぶ場合は、その周辺の環境が自分たちの望む環境であるかどうかは、必須条件である。

発がんの危険性がある石綿（アスベスト）を含む住宅建材について町民のみなさんへ情報を提供することは、大切ではないか。

① 石綿を含む住宅建材について問い合わせはあるか。

② 石綿についての周知はおこなっているか。

③ 今後2030年ころに、石綿が含まれる可能性のある建材を有する（住宅を含む）建物が解体・建て替えのピークを迎える。例えば毎年6月の環境月間を利用し、広報などで周知し、理解と協力を求めているかどうか。

④ 町として良い町にするための施策はないか

答弁 町長

① 問い合わせがないわけではないが件数はカウントしていない。問合せがあった場合、保健所や県の窓口を紹介している。

② 注意喚起を行っていく必要がある。町としても、ホームページへの掲載などの周知を考えていく。

③ アスベストに関する周知を6月の環境月間の期間がいいのかを含め検討する。

④ 国としての責務があると思うので、県を通じて国の方に処分費用を安価にできるように要望していく。



アスベストを含む家屋の解体工事



平岡 正一 議員
ひらおか しょういち

質問 水道事業の統合、平生町の将来に不安

答弁 統合にはメリットがある



田布施・平生水道企業団

質問

柳井地域の水道事業を統合する協議がすすめられているが平生町の将来に不安がある。

統合後の事務所は、柳井市役所内に置き、現在の33名の職員をすべて集め将来的には40名にするとしているがどうしてか。

周辺の町の水道事業は縮小をめざす一方で柳井市は給水区域を拡大するとなっているがどうか。

田布施・平生水道企業団の施設も廃止の一方であるが緊急時には有効な水源であり残すべきかどうか。

答弁

町長

統合すると利用者の利便性向上や組織管理体制の強化、人材の確保などメリットがある。

事務所は水道利用者の利便性、災害時の対応、執務室の広さなど検討した結果。職員数は、将来的には企業団職員とプロパーの採用を予定したものである。

拡大は、水道未普及地域でも安全安心な水を安定的に確保するため。

田布施・平生水道企業団と柳井地域広域水道企業団の水源を持つことで、災害時のリスクの分散や水道水の確保が可能となる。しかし、田布施浄水場の老朽化が進み、更新時に膨大な費用となるため、浄水場のあり方は、長期的な視野で検討していく。

質問 防災は地域コミュニティーから

答弁 地域でできる避難体制づくりに取り組む

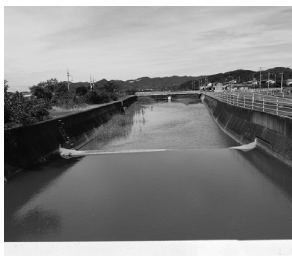
質問

町史を見ると平生町の災害は水害が一番多いが、南海トラフによる地震・津波にもそなえる必要もある。

能登半島地震から平生町が学ぶべき事は、一番に地域のコミュニティ活動を通じた防災活動の取り組みが必要と思うがどうか。

大井川の防潮対策、液状化対策や各排水機場の運転を確保する取り組みはどうか。

学校は児童・生徒がいる場合・いない場合や、学校が避難所になった場合などが想定されるがどうか。



大井川

答弁

町長

効果的な避難体制の構築に努めてきた。町

として地域が自ら考え、行動できる体制づくりに取り組んでいく。

大井川は、予想される津波の高さより高い高潮の設定で整備されているために津波にも対応可能と考える。来年度予定の、県による南海トラフ地震による液状化危険度情報の更新の調査結果を基に、液状化を前提とした防災・減災対策に努める。各排水機場は商用電源が喪失しても自家発電機の電力による運転が可能である。

答弁

教育長

学校にいる時は、児童生徒や教職員の安全確認を避難場所ごとに行い、訓練に沿った対応をする。いない時は、保護者へ連絡し、状況に応じて家庭訪問をする。学校が避難所になった場合は避難所運営へ協力し、学校教育の早期正常化に向けて取り組む。



長尾 忠明 議員
なが お ただあき

質問 平生町公共交通計画について

答弁 スピード感を持って取り組む

質問

①熊毛南高校の入学募集停止後は柳井広域以遠への通学割合も増加し、通学の不便性は平生町に住まない要因にもなる。また、団塊の世代が80才を迎える。運転免許返納の後押しのためにも早くすべき。本計画実施へのスピード感について所見を問う。

②本計画は特に高いサービスの持続性を図るべき。一部の事業はプロジェクトの収益を担保として、借りるべき者が借り、サービスを受ける者が対価を支払う等の特徴があるPFI法の活用が適すると考えるがどうか。

③物流・運送業界の2024年問題の影響による運転士不足の対応で、乗り合いタクシー導入と並行して、ライドシェアについても検討研究をしてはどうか。

答弁

町長

①持続可能な地域公共交通網を形成、維持するための計画である。事業の一つとして、乗り合いタクシーについても導入の検討を始める。

平生町地域交通協議会の協議内容をもとにスピード感をもって取り組む。

②循環交通の導入をはじめ、他の事業についてもPFIの手法の活用について研究していく。

③自治体ライドシェアが本町の実態には即しているかと判断している。今後は、協議会での議論を踏まえ、導入地域での状況や国の認定の推移について情報収集を行うなどライドシェアに係る動向を注視し、研究を進めていく。

PFI法とは

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律の略。

質問 平生港を国際貿易港として残すこと

答弁 要請と要望を行っている

質問

平生港が国際貿易港であることは、平生町の最大級の強みである。

これまでも大きなストック効果があった。さらに高度なインフラを整備すれば、ここから広域で企業誘致等のインフラストック効果をもたらすことができる。

そして、平生町の産業の活性化や、職場の確保など多くの希望を未来に繋げられる。

天候も海も穏やかな、ここは海路の要所でもあった。この港の最大限の活用は、歴史と自然の活用でもある。

今年度からの平生港利活用促進事業は大きな一歩である。

①平生港の開港維持の現況と、今年度のこの事業に期待するところを訊ねる。

②クルーズ客船等の寄港を図って、これらを発信できないか。

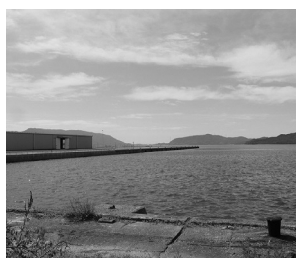
答弁

町長

①昭和44年に国際貿易港として開港。近年社会情勢の変化や港湾設備の関係で、外国貿易船の入港隻数は減少。本港の開港維持は非常に厳しい状況にある。

港の利活用策について、知事への要望活動や既存の事業者への要請活動など行っている。平生港利活用促進事業により、事業者が平生港を活用するきっかけとなることを期待している。

②クルーズ客船の寄港誘致を図るため、クルーズ山口協議会に参画している。クルーズ客船は、貿易船ではないため、関税法上の入出港船舶にはカウントされないが、平生港をPRし、地域活性化を図っていく。



国際貿易港である平生港



赤松 義生 議員
あかまつ よしお

その他の質問

- ・上関中間貯蔵所建設について
- ・災害対策について

質問 山口県の後期高齢者保険料は全国 6 位、意見具申を

答弁 要望があることを広域連合へ伝えたい

質問 後期高齢者医療制度は、県内の全市町が加入する山口県後期高齢者医療広域連合で運営されている。そのため、会計の状況がどうなっているのかわかりにくい状況にある。

山口県では、標準的な厚生年金受給者で保険料は月額 6,124 円で全国で 6 番目に高い。

問題なのは、給付準備基金の残高の推移で、2018 年で約 45 億 7 千万であったものが、2022 年には約 94 億に倍増していることだ。基金を活用し、保険料を引き下げるように意見すべきだ。



答弁 町長 基金の残高倍増は、新型コロナウイルス感染症の影響で被保険者が受診を控えたことが要因と分析している。

当基金は、医療給付に要する不足分を補填する財源や制度の実施に必要な財源として運用される。

保険料の引き下げを目的とした基金の運用は、原則できないと県の条例で規定されている。

町としての対応はできないが要望があることは広域連合へ伝えたい。

質問 福祉タクシーの格差解消と乗り合いタクシーへの移行準備は

答弁 取り組み状況をふまえて制度の見直しを図りたい

質問 昨年 3 月の議会では、町民の声に基づき福祉タクシーの充実と予約式タクシーの導入を提言した。

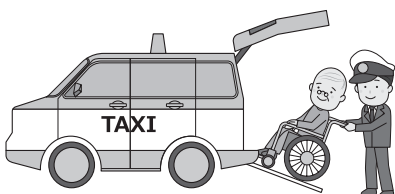
今年 4 月には地域公共交通計画が策定された。この計画でも移動に係る運賃の地域間格差が問題になっており、運賃体系の検討を行うことになっている。

福祉タクシーについて、佐賀地域とその他の地域では差がありすぎると指摘したが、その後どうなっているか。お出かけ支援サービスから乗り合いタクシーへの移行が計画されているが、準備はどうか。

答弁 町長 福祉タクシー利用者の実態を把握するため昨年度アンケート調査を行った。

地区別のタクシー利用一回当たりの自己負担額は、平生地区 65.2%、曽根地区 59.5%、に対し佐賀地区では 47.7% が 1,500 円以上だった。近隣市町などの先進事例や地域公共支援計画の取組状況をふまえて制度の見直しを図りたい。

乗り合いタクシーの導入は、平生町地域公共交通協議会で協議された内容をもとに検討していく。



質問 こどもの居場所支援を望む

答弁 関係課が連携協力する

質問

少し前までは地域全体がこどもの遊び場であり近所の大人も当たり前のように見守っていた。地域はこどもで結ばれ絆も深かった。

しかし少子化や家族の形態の変化、デジタル技術の進展などで環境が大きく変化した。

政府はこどもの居場所づくりを積極的に進めている。町内の現状を質問する。

①こどもが安全で安心して過ごせる居場所はどれくらいありどんな機能をはたしているのか。

②政策を進める担当課はどこにあるのか。

③こども計画の策定予定はどうなっているか。

答弁

町長

①平生中央児童館やこども食堂がある。自由に過ごす場であり学習支援や相談支援ができる。

②町民福祉課か教育委員会が考えられるが、関係課が連携協力できる体制の構築に取り組む。

③県の計画の策定を待つ町のも計画を策定。

答弁

教育長

町教委では、放課後などのこどもの居場所の確保充実に向けて地域の協力を得て取り組んでいる。

再質問

国のこどもの居場所支援体制強化事業では二分の一補助がある。これを活用して児童館を核としての取り組みは考えられないか。

答弁

町長

この事業では、こどものニーズ調査や広報啓発の取組、コーディネート配置支援などがある。こどもの居場所作りは重要と考えており、補助事業の活用について検討したい。

質問

町内にある河川の管理はどのように行っているのか。

長年放置されてきたことによりに土砂が溜まり、草が茂っていて既に川底が高くなっている状況だ。

川底に溜まった土砂の撤去や樹木の伐採など早急に対処していく必要があると思うが町長の河川管理についての考えを問う。

高潮だけでなく気候変動によるゲリラ豪雨や線状降水帯により突然の大量の雨が降り河川が氾濫する可能性も十分考えられる。定期的な確認だけでは異変などの発見に数日を要する可能性もある。河川の見回りに住民の力を借り異変があれば役場への連絡を頂くことの制度は作れないか。県への河川管理についてどのように対処しているか。

答弁

町長

河川については国や県、市町村などで管理者が異なる。町内では国が管理する河川はない。県が管理する河川は7河川。県では河川の点検や監視など、住民からの通報で状況を確認している。町では地元自治会や用水路管理者、作業員などで管理している。今後の通報体制は電話の他、町公式LINEでも受付けている。

異常気象は近年激甚化、頻発化し、豪雨が増加している。町の管理する河川は、129河川あり、災害の発生を未然に防止のため、浚渫工事を行ってきた。県3河川を令和6年度に浚渫工事を計画。今後県河川においての要望があれば県に状況を伝え、要望していく。



細田 留美子 議員
ほそだ るみこ



岩本 ひろ子 議員
いわもと ひろこ



草が繁茂している熊川

研修報告

市町村議会議員研修

令和6年度第1回市町村議会議員特別セミナー

【期日】4月18日～19日

【場所】全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）及び平生町議会委員会室（オンライン受講）

【受講者】河内山宏充

長尾忠明

【研修内容】講義「国家戦略特区の取組と地方創生」、「お笑い」の力で地域活性化、「地域マーケティング」による戦略的なまちづくり」ほか



議会の動き

(R6.3.7～R6.6.5)

- 3月7～21日 令和6年第2回定例会
- 3月7日 議会広報広聴調査特別委員会
- 3月21日 議会全員協議会
- 3月26日 熊南総合事務組合議会定例会
- 〃 田布施・平生水道企業団議会定例会
- 3月27日 議会タブレットペーパーレス会議システム操作研修
- 3月28日 議会広報広聴調査特別委員会
- 4月5日 議会広報広聴調査特別委員会
- 4月15日 議会広報広聴調査特別委員会
- 4月23日 周東環境衛生組合議会臨時会
- 5月20日 総務厚生常任委員会
- 5月23日 産業文教常任委員会
- 6月3日 議会運営委員会
- 6月5日 議会全員協議会



原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

字数

400字以内

提出先

平生町役場、議会議務局、議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもあります。掲載文には薄謝を差しあげます。



次回

是非ご来庁、傍聴ください

令和6年9月定例会会期（予定）

9月 2日(月)	9時～	全員協議会
11日(水)		本会議
12日(木)		本会議
13日(金)		決算特別委員会
17日(火)		決算特別委員会
18日(水)		総務厚生常任委員会
19日(木)		産業文教常任委員会
25日(水)		本会議

◆右記の平生町議会の本会議各委員会、全員協議会は傍聴できます。

◆議場と委員会室は、1号棟3階にあります。傍聴を希望される方は、直接3階の議場または、委員会室にお越しください。傍聴届に必要事項を記入後、傍聴席で傍聴していただくという流れになります。

◆また、1階の交流室のモニターで本会議の様子を自由にご覧いただけます。



編集後記

2006年に公開された映画『ブラダを着た悪魔』を、また「観ました。振り返ると10回以上鑑賞しております。概ね元気がないときに観ているようにも思います。

この映画はニューヨークを舞台にしたファッション誌業界での若者の成長物語です。観るたび、師資相承の話として勇気をもっています。

私も主人公のアン・ハサウェイよろしく、行動・思考と反省の連続です。そして日々、何かを受け継ぎ、何かを伝え残すコトを使命に、議会の一員として活動しています。

議会だよりの発刊もそのための重要な活動です。私は今号の表紙写真を担当しました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。

表紙を彩る笑顔から、同映画ラストシーンのメリル・ストリープのような笑顔が、読者の皆さんに伝わり広がっていたら幸いです。

長尾忠明